



がん検診を受けましょう

症状がなくても年に一度は

今月の担当

保健師
小松 由季

地域福祉センター健康推進係
(☎52-3333)

■がんは身近な病気

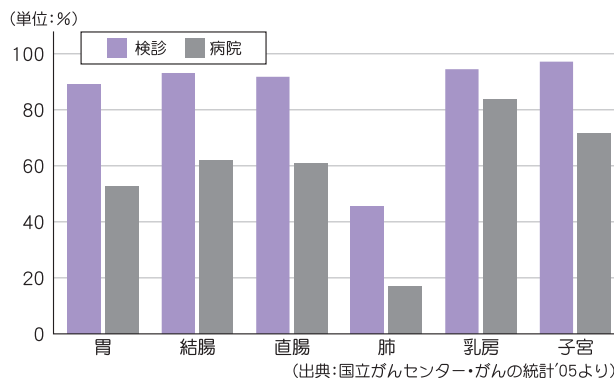
国民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。がんは特別な病気ではなく、私たちの最も身近な病気の一つになりました。がんをどのように発見し、治療していくかが重要な時代になってきたと言えます。

しかし、日本におけるがん検診の受診率は20%程度にとどまっており、置戸町における受診率も20~30%程度と伸び悩んでいる現状にあります。

■がん検診を‘受けない’理由って？

平成25年度の国の調査で、がん検診を受けない理由として上位に挙げられているのは、①心配なときはいつでも医療機関を受診できるから…32.5% ②時間が取れないから…20.6% ③面倒くさい…18.5%となっています。

しかし、がんは早期発見・早期治療が大切な病気です。右上のグラフは「検診でがんが発見された人」と「自分で病院に行ってがんが発見された人」の5年後の生存率を比べたものです。このグラフからも、体の不調を感じてから病院に行くよりも、検診でがんを発見した方が20~30%も生存率が高いことがわかります。



がんは早期発見・早期治療することにより、身体面・生活面・治療費の面でも負担が少なく、治る可能性が高くなりますので、早期発見するためにも無症状のうちから検診を受けることをおすすめします。

置戸町では、胃・肺・大腸・前立腺がん検診は、特定健診（血液検査、眼底検査、心電図など）と一緒に受けられます。一年に一度だけでも自分の体の中をチェックしてみましょう。通院している方も、普段していない検査がありますので、検診を受けることを強くおすすめします。

特定健診・がん検診 随時申し込み受付中です
地域福祉センター健康推進係 (☎52-3333)

喜びと悲しみ(敬称略)

■ご出生おめでとうございます

- 高橋 淳平 女児 美侑(みゆう)中央 12/8
- 奥山 拓博 女児 実胡(みこ) 豊住第一 1/5
- 鈴木 良知 女児 みちる 豊住第一 1/7
- 田中 稔 男児 将太郎(しょうたろう)若木 1/14
- 佐々木英修 女児 葵(あおい) 緑栄 1/15
- 櫛引 喜洋 男児 来斗(らいと)林友 1/29

■ご結婚おめでとうございます

- 小島敦志・長谷川由梨 協生 1/31

■お悔やみ申し上げます

- 西家 義春 73歳 協生 12/16
- 結城とめ子 85歳 勝山第一 12/22
- 高坂 秀子 63歳 緑栄 1/6
- 菊地ハル子 91歳 緑栄 1/13
- 竹内ヤヨビ 93歳 拓殖第二 1/25
- 福地 ツル 96歳 緑清園 2/2

人の動き

| | |
|------|----------------------------|
| ●世帯数 | 1,522 世帯 (+ 3 世帯) |
| ●人 □ | 3,137 人 (+ 3 人) |
| ●男 | 1,462人(+ 3人) 女1,675人(± 0人) |

平成27年1月31日現在()内は12月末比

編集後記

○あるとないでは大違い。この「あるとない」の対象物は、何でもないような普段はありがたさを感じにくいものだったりしますが、この「編集後記」欄も、ある時ある場面では決定的な役割を果たすこともあると信じ、したためています。㊦